

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

## ②施設・事業所情報

名称：ティンクル瀬谷保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：玉木 依子	定員（利用人数）：120 名	
所在地：〒246-0031 横浜市瀬谷区瀬谷4-25-2		
TEL：045-459-5403	ホームページ： <a href="http://seisa.or.jp/">http://seisa.or.jp/</a>	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2013年04月01日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 星槎		
職員数	常勤職員：20 名	非常勤職員：19 名
専門職員	（専門職の名称）： 名	
	保育士：32名	看護師：1名
	子育て支援員：4名	
施設・設備 の概要	（居室数）	
	居室：0歳児室	設備：給食室
	居室：1歳児室	設備：調乳室
	居室：2歳児室	設備：リネン室
	居室：3歳児室	設備：医務室
	居室：4歳児室	設備：洗濯室
	居室：5歳児室	設備：給湯室
		設備：幼児トイレ
		設備：多目的トイレ
		設備：職員トイレ
		設備：1階ホール
		設備：2階ホール
	設備：エレベーター	
	設備：園庭	

## ③理念・基本方針

## &lt;理念&gt;

人を認める・人を排除しない・仲間を作るという星槎の理念を基本とし、家庭的な雰囲気の中で保護者を支えながら子どもが安心して生活できる保育園を目指す。

## &lt;保育方針&gt;

1. 集団生活を通じていろいろな活動を積極的に経験し、様々な人と関わり、愛情と信頼感そして人を大切にする心を育てます。
2. 一人ひとりの成長過程を踏まえ、心身ともに調和のとれたこどもの育成に努めます。

## &lt;園目標&gt;

「こころもからだもいっばいうごかそう」

1. 心身共に健康なこども
2. 感謝の気持ちをもてるこども
3. 誰にでも思いやりを持てるこども
4. 自主性、自発性のあるこども

＜保育姿勢＞

●保育所として行う保育・教育の運営を確保する為に人員及び運営管理に関する事項を定め、当園を利用する小学校就学前のこどもに対し、適切な保育・教育を提供することを目的とする。一人一人の成長過程を踏まえ、心身共に調和のとれたこどもの育成に努めます。

#### ④施設・事業所の特徴的な取組

＜ティンクル瀬谷保育園の特徴的な取組＞

1. 園の子どもたちだけではなく地域の子育て支援に、園庭開放や行事に招待する
2. 運動不足になりがちな子どもたちのために、体育指導やサッカー教室の実施
3. 年長組は、11月から書き方教室でひらがなを習い文字に興味を持つことを促している

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年07月28日（契約日） ～ 2024年03月14日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（2017年度）

#### ⑥総評

【ティンクル瀬谷育園の概要】

●ティンクル瀬谷保育園（以下、当園という）は、社会福祉法人星槎（以下、法人という）の経営であり、星槎グループの幼児教育部門に属し、平成25年4月1日の設立から11年目を迎えています。法人グループは高校大学またはフリースクール等、多種多様な教育事業も運営しています。法人の理念として「人を認める、人を排除しない、仲間をつくる」を基本とし、家庭的な雰囲気の中で保護者を支えながら子どもが安心して生活できる保育園を目指しています。また、理念に基づいた園の方針は「心身ともに調和のとれた子どもを育成する」を掲げて保育を実践しています。園の基本方針については、園長から年度初めの職員会議で資料を全職員に配付して説明が成され、日々の園運営の中でも都度、伝えていきます。さらに、園長自らの姿勢、接遇を通して発信し、年1回、職員面談を設けて理解度を確認し全職員が意識統一に努めています。また、園の基本方針を基に、主任、リーダーを中心として全体的な計画、年間指導計画、月次指導計画、週案・日案を職員で作成し、日々、道標にして保育を実践しています。

●当園は、広い園庭と2階建ての園舎で採光も良く、駅にも近いことから利便性が高く、子ども・保護者に人気の保育園です。園舎は、角地に位置する敷地に、東南4分の1を園庭として確保し、鉄筋コンクリート造りにより、南向きに保育室を設け、子どもたちが園庭に出入りできるようL字型に建てられています。園舎内は、壁のない間切りの構造になっていることで自由度、活動導線が効果的になっています。職員室もドア・壁がなく、子どもたちが紙芝居を取りにくる等、オープンな環境となっています。各保育室は広くゆとりがあり、遊びと午睡をそれぞれ確保したスペースを有し、窓も大きく取られて明るい空間になっています。2階には余裕のある長いテラスが設けられおり、0歳～2歳児の遊びの場としても活用しています。職員は、子どもがやりたいと思うことを優先

し0歳から5歳まで途切れない保育と、自分で考え・伝えることができる子どもに成長することを目指し、職員一人ひとりが丁寧に保育に当たっています。地域には、誰でも使える「みんなのトイレ」を提供し、また、「よこはまECO保育所」の認定を得、太陽光発電設備を導入し、緑化事業所とする等、環境対策にも取り組んでいます。

◇特長や今後期待される点

1. 【子どもの主体性を尊重した保育の実践】

ティンクル瀬谷保育園（以下、当園という）では、0歳から5歳まで途切れない保育に努め、保育目標である「集団生活を通じて、いろいろな活動を積極的に経験させ、異年齢の子どもとの交流を図りながら、一人ひとりの成長・発達をふまえて、心身共に調和のとれた子どもの育成に努めます」を掲げ、全職員一丸となって子ども一人ひとりの気持ちに寄り添い、子どもの健やかな成長を支え、子どもたちが気持ち良く・楽しく過ごせるよう援助しています。職員は、常に「子どもファースト」（子どもを守り育てることを最優先する考え方）で、子ども自身で考え伝え行動できるように援助しています。子どもが「何をしたいのか」、「何を必要としているのか」を職員間で情報交換し、各年齢の発達を考慮した保育計画の中に組み込んでいます。当園では日々の活動を通し、園目標の達成に向けて様々な保育活動に取り組んでいます。今回の利用者（保護者）アンケートには、「子どもが楽しんでいる」、「子どもに丁寧に接している」、「先生が優しい」等の声が多く寄せられ、保育への信頼度の高さが感じられます。

2. 【園内研修の充実と人材育成】

横浜市内に法人系列園があり、連携及び合同で法人の施策に沿った人材育成体系の下で、職種やキャリアに応じた様々な研修が企画され、計画的に実施されています。全職員が、積極的に研修に参加すると共に、知り得た知識や技術等を園内研修で共有し、保育に生かしています。子どもの最善の利益を抛り所に、適切な保育を行うためにはどうすればよいかの話し合いを進めています。また、保育実践の振り返りは、活動内容、環境整備が子どもの心身の育ちにつながるよう努め、職員間で共有し、適切な援助が行われています。

3. 【地域子育て支援の推進】

当園は、地域ニーズに応じて、一時保育を実施しています。その他にも、園庭開放、行事へ招待する等、育児支援事業を計画・実施をしています。近隣のゴミ拾いを2回/週、作品展への出展、見学時の育児相談等、積極的に地域子育て支援の取組を進めています。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名 ティンクル瀬谷保育園

《第三者評価を受審した感想・自己評価での取組の感想》

日々の活動に精一杯の毎日でしたが、評価を受け、それぞれにすべきことが明確になり、良かった。

職員の相互理解にも役立ちました。

《評価後取組んだ事として》

1. マニュアルの見直し、明確化に取り組めます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり